

# 大学連携による学習支援の促進

## 「学習支援促進のための三大学連携事業」の活動

### 目的・趣旨 |

大学図書館では、ラーニング・コモンズの設置を始めとする学習支援への取り組みが積極的に行われています。しかしながら、この学習支援への積極的な関与という新しい大学図書館機能への取り組みは、個々の大学図書館が持つ人的リソースだけではなかなか具体的な成果を出すのが難しく、また、その人材を育成する面においても、個々の努力だけでは難しいものです。学習支援促進のための三大学連携事業は、ラーニング・コモンズを持つ東海北陸地区の金沢大学、静岡大学、名古屋大学の三大学図書館が連携して、三大学のリソースを有効に活用し、効果的な学習支援サービスを協働して行っていくという趣旨のもと、平成24年6月21日に協定を結び、事業を開始しました。

ラーニング・コモンズを活用した学習支援に関して、三大学でそれぞれ設定した異なる課題について新たな支援策を模索し、その成果を互いにフィードバックすることで各大学の学習支援の発展を図っていきます。

この事業では、留学生への支援、海外の大学図書館との連携も視野に入れて学習支援に取り組み、また、学習支援を進めていくにおいて不可欠な、図書館職員の育成も行っています。

### 実施内容 |

この三大学による連携事業では、次の事業を行っていきます。

1. ラーニング・コモンズを活用した学生への学習支援の促進に関すること。
2. 留学生への学習支援に関すること。
3. 国際連携(海外の大学図書館との事業の連携)による学習支援の強化に関すること。

4. 学習支援を担当する職員の育成に関すること。
5. その他学生への学習支援の促進に必要な事業に関すること。

ラーニング・コモンズにおける学習支援の促進を協力して行っていくほか、各大学のテーマとして、金沢大学では「留学生への学習支援」を、静岡大学では「国際連携による学習支援の強化」を、名古屋大学では「学習支援を担当する職員の育成」を担当しています。それぞれのテーマを担当する大学で事業を提案し、三大学の職員からなる運営WGを通じて協力して実施していきます。独自に実施した場合にも、他二大学へ情報やノウハウの提供を行っています。

### 実施成果 |

#### ○海外大学図書館調査

平成24年3月に金沢大学、静岡大学、名古屋大学の三大学の図書館職員が、合同で海外大学図書館の調査を行いました。

この調査では、「ラーニング・コモンズの活用」、「学習支援」に加えて、金沢大学のテーマである留学生への学習支援の観点から「グローバル化」にも焦点を当て、香港、シンガポール、オーストラリアの計11大学の図書館の現状について、2チームに分かれて調査しました。その調査から、これらの課題に関して、今後の我が国の大学図書館に求められるサービスや機能の改善へのヒントを得ることができました。

この調査の結果は、「学習支援促進のための三大学連携事業による海外大学図書館調査報告書：香港、シンガポール、オーストラリア

の大学図書館におけるラーニング・コモンスの整備及び学習支援の現状」として三大学のリポ  
ジトリで公開しています。

海外大学図書館調査 訪問大学

香港	香港科技大学 : The Hong Kong University of Science & Technology 香港大学 : The University of Hong Kong 香港城市大学 : City University of Hong Kong
シンガポール	南洋理工大學 : Nanyang Technological University シンガポール国立大学 : National University of Singapore
オーストラリア	モナシュ大学 : Monash University ディーキン大学 : Deakin University ビクトリア大学 : Victoria University マッコーリー大学 : Macquarie University シドニー工科大学 : University of Technology, Sydney シドニー大学 : The University of Sydney



香港大学 Main Library



シドニー大学 Fisher Library

○Information Literacy Instruction ライブラ  
リアン (ILI-L) 育成事業

公益財団法人図書館振興財団の平成 24 年度  
振興助成事業による助成を受け、情報リテラシ  
ー教育を担当する図書館職員を育成する事業  
を開始しました。この事業では、e-learning の  
学習コースと実践的なワークショップによる  
育成を計画しています。平成 24 年度には、三  
大学の職員と教員の協力により、moodle によ  
る e-learning サイトの構築と、学習コンテン  
ツの作成を行いました。情報リテラシー教育を  
企画・実践するために必要な知識及びスキルを  
学ぶ、「情報リテラシー」、「学習科学」、「イン  
ストラクショナル・デザイン」の 3 つのパート  
からなる学習コンテンツを三大学の職員で分  
担し、ネット会議などで打合せを重ねながら作  
成しました。

○留学生への学習支援：アンケートの実施

留学生の、ラーニング・コモンスを含めた図  
書館の利用に係る課題を探り、留学生向けサー  
ビスの改善に向けた検討資料とするために、金  
沢大学附属図書館において、平成 24 年 6 月 22  
日から 7 月 13 日にかけて留学生を対象とした  
アンケートを実施しました。その集計結果と分  
析をリポジトリから公開しています。

**■ Aさんの問題解決 Stage2**

情報探索の方法を考える

「先行事例は、GINII Articlesで雑誌に掲載された記事を探してと。各館の図書館報にも載ってるかな。新聞記事もみておいたほうがいいな。スマートフォンの機能は、携帯電話会社のサイトで調べればいいか。あと、情報通信白書をみておこう」

あまり手を広げないで、この範囲で資料を集めることにしよう。

© 2015, Nagoya University, Kanazawa University, Shizuoka University 1 / 24

情報リテラシー

**■ 最近接発達領域 (zone of proximal development)**

ヴィゴツキー(Vygotsky, L.S.)  
子どもは、社会的な相互作用の中で発達が促される。

「まったくできないこと」の領域 → 手助けがあればできること(最近接発達領域) → 自力でできること(区がっている)

© 2015, Nagoya University, Kanazawa University, Shizuoka University 1 / 12

学習科学

**■ 学習目標の見直し (1/2)**

この学習課題で確実に学習目標に到達できるか

■ スタート  
- OPACで図書と雑誌を検索できるようになる  
- 学習中  
- OPACで図書を検索できるようになる  
- 想定する時間内に学習できるか

■ 目標を振り返る  
与えられた書籍情報を説明できる  
図書のタイトルでOPACを検索できる

学習目標

前提条件

© 2015, Nagoya University, Kanazawa University, Shizuoka University 1 / 24

インストラクショナル・デザイン

## ○カナダの大学図書館からの情報提供

学習支援について先進的な活動をしているカナダの大学図書館の事例を三大学での学習支援促進の参考にするため、静岡大学では、平成 24 年度にカナダの 2 つの大学について調査を行い、その結果を三大学で共有しました。特に Simon Fraser University からは学生スタッフ向けマニュアルの提供を受け、各大学でのマニュアル作成にあたり参考にすることができました。

## ○ワークショップの開催

学習支援を行う上で基礎となる学習科学について学ぶため、平成 24 年 11 月に、静岡大学附属図書館を会場として、三大学図書館職員向けに「ILI-L 育成事業スタッフのための学習科学入門ワークショップ」を行いました。静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻の益川弘如准教授を講師にお迎えし、協調学習の手法である「ジグソー学習法」を学び、同時に三大学図書館職員の交流も図ることができました。

## 参考文献・URL |

- ・ 学習支援促進のための三大学連携事業 Facebook  
<https://www.facebook.com/libcoalition>
- ・ Information Literacy Instruction ライブラリアン育成事業  
<http://el.nul.nagoya-u.ac.jp/instruction/>
- ・ 「学習支援促進のための三大学連携事業による海外大学図書館調査報告書：香港、シンガポール、オーストラリアの大学図書館におけるラーニング・コモンズの整備及び学習支援の現状」  
<http://dSPACE.lib.kanazawa-u.ac.jp/dSPACE/handle/2297/32450>  
<http://ir.lib.shizuoka.ac.jp/handle/10297/6755>  
<http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/jspui/handle/2237/16799>
- ・ 附属図書館留学生アンケート 集計結果と分析  
<http://dSPACE.lib.kanazawa-u.ac.jp/dSPACE/handle/2297/33006>

## 連絡先 |

名古屋大学附属図書館情報サービス課

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL: 052-789-3674

## 今後の展開・課題 |

この事業により、一大学では人的資源の制約などにより実現が難しい事業にも取り組めるようになりました。また、三大学の職員の交流が生まれただけでなく、この事業の中で生まれた教員との協力関係から、図書館が実施する講習会のプログラム見直しやグループワークの導入が行われるなど、それぞれの大学での学習支援の取り組みにも、その成果が活かされています。

今後は、より日常的に連携できる仕組みを検討し、三大学分担による、レファレンスサービス、留学生支援、ライティング支援など業務レベルでの協働による具体的なサポートの充実へと発展させていくことが課題となります。

また、この事業に関わる三大学の図書館職員を中心とした、他大学への広がりを持つ学習支援コミュニティを形成していくことも必要であると考えています。